

五木村振興計画に関する村民アンケート調査結果（概要版）

◆ 概要

五木村基本構想に基づくこれからの村づくりの指針となる「五木村振興計画（後期基本計画）」の策定にあたり、村民の皆様のご意見を広くお伺いするために、今回、村内にお住まいの18歳以上の村民全員にアンケートを実施しました。

調査結果の全体版につきましては、別途五木村ホームページで公開しております。右のQRコードからもアクセスすることもできます。

調査対象者：令和5年7月末時点で18歳以上の村民870名

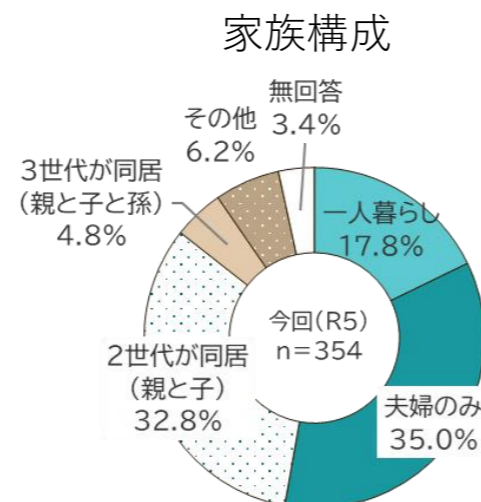
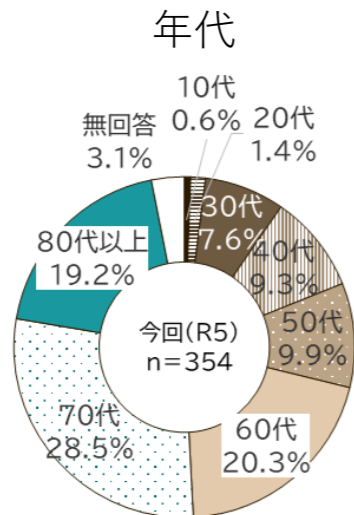
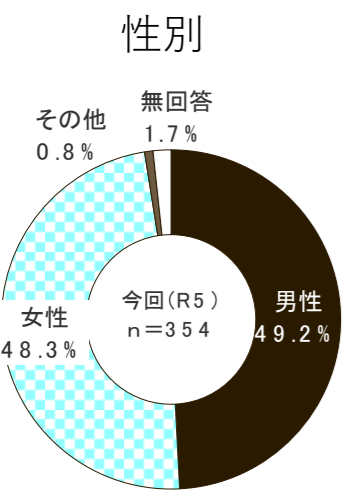
調査期間：令和5年8月18日（金）～9月1日（金）

調査方法：郵送による送付、郵送・WEBによる回収

回収結果：有効回収数：354件（回収率 40.7%）



◆ 属性



◆ 満足度・重要度平均による各項目の分類

【要改善項目】 満足度低 + 重要度高

- (2) 林業の振興
- (8) 道路網の整備

【維持項目】 満足度高 + 重要度高

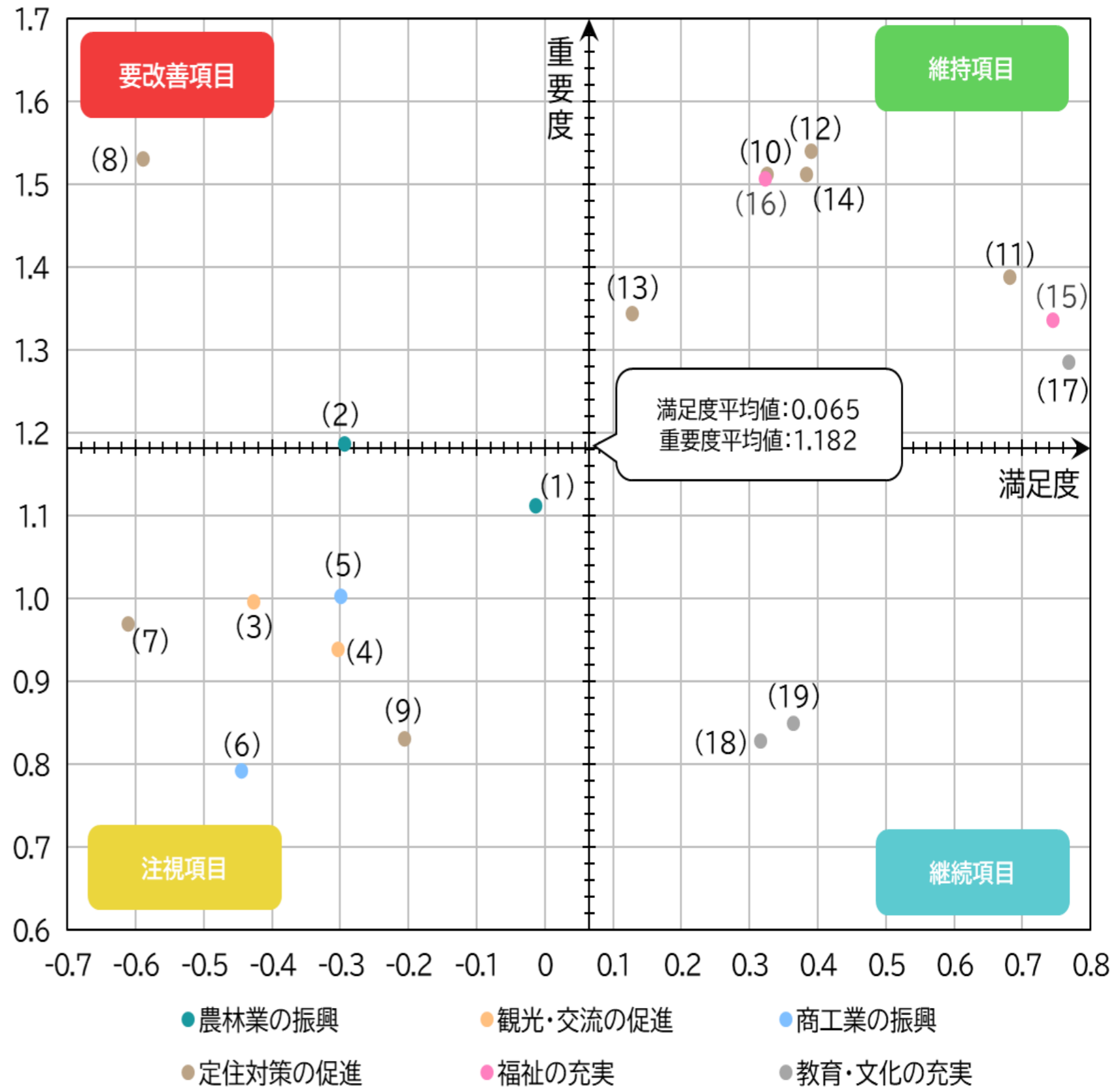
- (10) 水道の整備
- (11) 生活污水处理の整備
- (12) 公共交通対策の整備
- (13) 情報通信網の利活用
- (14) 安全安心な生活環境の整備
- (15) 子育て支援対策
- (16) 高齢者支援対策
- (17) 学校教育環境の充実

【注視項目】 満足度低 + 重要度低

- (1) 農業の振興
- (3) 観光産業の促進、情報発信
- (4) 人材育成と体制の強化
- (5) 商工業の振興
- (6) 再生可能エネルギーの導入・利用促進
- (7) 移住定住促進
- (9) 水没予定地の利活用

【継続項目】 満足度高 + 重要度低

- (18) 社会教育の充実
- (19) 伝統文化の振興・保存活用



満足度と重要度の平均点散布図

※満足度・重要度を「-2点～2点」で点数化し、分析

各分野ごとの主な分析結果

◆ 農林業の振興に向けて、重要だと思うこと【選択肢は3つまで】

全体結果

- ①農林業に従事する人材の確保・育成（43.2%）
- ②有害鳥獣侵入防止対策やジビエ料理などへの有効活用（37.0%）
- ③農林産物直売施設（道の駅など）を核とした地域のにぎわい創出（35.9%）

年代別結果

- 10～30代：農林業に従事する人材の確保・育成（44.1%）
- 40～50代：農林業に従事する人材の確保・育成（63.2%）
- 60代以上：農林業に従事する人材の確保・育成（51.9%）

その他

代表的な意見として「林業課（高校）の創設」などがありました。

各年代別の集計結果においては、どの年代も「農林業に従事する人材の確保・育成」を最も重要視しており、10～30代は「田や畑、農道・林道、ため池など農林業基盤の整備」を、40～50代は「農林産物直売施設（道の駅など）を核とした地域のにぎわい創出」を他の年代よりも重要視しているなどの差異が見られました。

◆ 観光・交流の促進に大切なことは何ですか。【選択肢は3つまで】

全体結果

- ①観光拠点施設の整備（道の駅など）（42.1%）
- ②五木村へのアクセスの整備・向上（38.4%）
- ③自然景観と体験型観光の推進（37.3%）

年代別結果

- 10～30代：五木村へのアクセス（47.1%）
- 40～50代：観光拠点施設の整備（道の駅など）（50.0%）
- 60代以上：観光拠点施設の整備（道の駅など）（41.5%）

その他

代表的な意見として「自然の保持」「魅力のある人づくり」などがありました。

各年代別の集計結果においては、10～30代は「イベントを中心とした観光（祭り・スポーツ大会など）」を、40～50代・60代以上は「観光事業に関わる人材の育成」を他の年代よりも重要視しているなどの差異が見られました。

◆ 村の商工業振興について、今後どのような取り組みが必要か【選択肢は3つまで】

全体結果

- ①五木特産品の販路開拓（43.2%）
- ②魅力ある新商品・特産品の開発支援（43.2%）
- ③起業及び企業誘致の促進（32.5%）

年代別結果

- 10～30代：事業に要する経費支援（38.2%）
- 40～50代：魅力ある新商品・特産品の開発支援（46.9%）
- 60代以上：五木特産品の販路開拓（46.9%）

その他

代表的な意見として「商品サービスを広めるネットワークづくり（継続性）」「安心して住める住宅」などがありました。

各年代別の集計結果においては、10～30代は「事業に要する経費支援」を最も重要視しており、40～50代は「起業及び企業誘致の推進」を他の年代よりも重要視しているなどの差異が見られました。

◆ 定住・移住してもらうために重要だと思うこと【選択肢は3つまで】

全体結果

- ①働く場や雇用の創出（40.7%）
- ②住宅購入・家賃・リフォームなどにかかる支援（28.5%）
- ③日常的な買い物環境の充実（27.7%）

年代別結果

- 10～30代：日常的な買い物環境の充実（38.2%）
- 40～50代：働く場や雇用の創出（45.6%）
- 60代以上：働く場や雇用の創出（39.8%）

その他

代表的な意見として「魅力のある仕事」などがありました。

各年代別の集計結果においては、10～30代は「子育て支援の充実」を、40～50代は「住宅購入・家賃・リフォームなどにかかる支援」を、60代以上は「若者が活躍する場の提供」を他の年代よりも重要視しているなどの差異が見られました。

◆ 五木村の情報入手手段【選択肢は3つまで】

全体結果

- ①広報いつき（76.8%）
- ②いつきちゃんネル（50.6%）
- ③IP告知放送（防災無線）（35.3%）

年代別結果

- 10～30代：広報いつき（70.6%）
- 40～50代：広報いつき（67.6%）
- 60代以上：広報いつき（82.6%）

その他

代表的な意見として「温泉コミュニティの情報」などがありました。

各年代別の集計結果においては、どの年代も「広報いつき」が最も高く、「いつきちゃんネル」については、年代が高いほど利用されている。10～30代・40～50代は「村ホームページ」を60代以上よりも重要視しているなどの差異が見られました。

◆ 村の振興に向けて、特に重要だと思うこと【選択肢は3つまで】

全体結果

- ①定住対策の促進（41.5%）
- ②福祉の充実（32.2%）
- ③農林業の振興（30.8%）

年代別結果

- 10～30代：定住対策の促進（44.1%）
- 40～50代：定住対策の促進（55.9%）
- 60代以上：農林業の振興（39.4%）

その他

代表的な意見として「ふるさとへの誇りと愛情」「人との繋がり」「道路の整備」などがありました。

各年代別の集計結果においては、10～30代は「福祉の充実」を、40～50代は「観光・交流の促進」を、60代以上は「農業の振興」を他の年代よりも重要視しているなどの差異が見られました。